令和７年６月３日

八小コミュニティ・スクールだより No.1

第１回 八小 学校運営協議会

～会長・副会長が決定～

地域の教育力を学校教育に活かすことを目指すコミュニティ・スクールが八小に導入されて今年で４年目になりました。５月２７日（火）には第１回学校運営協議会が開催され、委員の委嘱後、役員の選出を行い、会長、副会長が選出されました。

令和７年度 八小 学校運営協議会委員

	職　名　等
	多々良中学校長
	多々良公民館長
	第八小学校ＰＴＡ役員
	多々良地区青少推代表
	主任児童委員
	市スポ協多々良支部長
	区長会代表
	元多々良公民館長
	おやじクラブ会長
	松波保育園長
	ＣＳディレクター
	第八小学校長

八小 学校職員

	第八小学校　教頭
	第八小学校　教務主任

会議では、協議に先立ち授業参観が行われ、委員の皆さんは、実際に教室に入り八小の現状を確認しました。

協議では、まず八小校長が今年度の学校経営方針を説明し、その後、委員全員の賛成をもって基本方針は承認されました。

＜令和７年度 学校経営の基本方針（抜粋）＞

一人一人を大切にする教育 （笑顔、前向き、高め合い）
○エイジェンシーを発揮する児童の育成 ○豊かな人間性の育成 ○特別支援教育の理解と実践・日本語指導の充実 ○コミュニティスクール
児童×教職員×保護者×地域×関係機関
Ⅰ 学校教育目標 「自ら学び 心豊かでたくましく生きる児童」の育成 Ⅱ 目指す学校像 児童と教師が笑顔で楽しく前向きに学び、高め合える学校

＜熟議（話し合い）＞

続く熟議（話し合い）では、３グループに分かれ、「学校と地域のあるべき姿について」をテーマに、熱心に話し合いが行われました。

熟議の全景

～Ａ班の内容～

○八小地区は、本市の中でも公民館を中心に地域コミュニティがしっかりとまとまった地域です。今後も、幼稚園、保育園、小学校、中学校などが連携し、さらに地域コミュニティを深め、継続することは必要です。

○八小地区は外国人の多い地区です。その意味からも、多文化共生を進めることは重要な課題です。

Ａ班の熟議の様子

～Ｂ班の内容～

○前年度の会議の中で、百年小麦の体験学習の話がありました。また多々良沼は日本遺産の実りの沼でもあります。このことを踏まえ、百年小麦の種蒔きから収穫まで体験できる事業を実施してほしいです。また収穫した小麦を使い、うどんなどの調理までできると更に良いです。そのためには、農協、市役所（商工課、農業振興課）など関係機関が連携・協力し進めることが必要です。

○雨天時などは、児童の送迎の車が多く、周辺住民にご迷惑をかけることがあります。旧職業訓練校を利用するなど対策を徹底することが地域と学校の良好な関係を保つためにも重要と考えます。

○小学生の交通安全教室を自動車教習所で行っていると思いますが、自転車の乗り方も含め、更に充実してほしいです。

Ｂ班の熟議の様子

～Ｃ班の内容～

○多々良地区は地域に対する愛着や思いが強く、活気あふれる熱量の多い地域です。人と人との関わり合いが多く、どんど焼きなどの伝統行事が行われています。また、防災訓練やＰＴＡの廃品回収なども積極的に行われています。

○今後も、頼れる、頼られる学校と地域の関係を築くことは重要です。

Ｃ班の熟議の様子

＜今後の予定＞

・第２回学校運営協議会　１２月２日（火）

・第３回学校運営協議会　２月１７日（火）